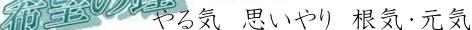


甲賀市立希望ヶ丘小学校 学校通信

2025.10.1 NO.8



がっこうきょういくもくひょう ひと ひと ゆた なか みずか まな こころゆた ちいき あい こ いくせい

学校教育目標:「人と人との豊かなつながりの中で、自ら学び、心豊かでたくましく、地域を愛する子どもの育成」

全校児童

令和7年度学校児童アンケート1学期(7月実施)

## 39.9%

## よい言葉づかいをしている

①そう思う ②まあまあそう思う ③あまりそう思わない ④そう思わない

63.3%

64.3%

514%

*39.6%* 

18.8%

113.3%

1 年生

2年生

3年生

4年生

5年生

6年生

先月の学校通信でもお伝えしておりますが、微めて一つの項も「よい言葉づかいをしている」に著自、してみたいと思います。全校児童の約4割は、よい言葉づかいをいつも意識しているようですが、学年別にみてみると学年が上がるにつれて意識が希薄化しているようです。下級生の手本となるべき上級生 、社会のルールを学年が上がるにつれて意識が希薄化しているようです。下級生の手本となるべき上級生 、社会のルールを学年が上がるにつれて意識が希薄化しているようです。下級生の手本となるべき上級生 、社会のルールを学年が上がるに身に着けて場に応じた丁寧な言葉を使うべき上級生 が、現実にはなかなか行動が伴っていない状況が 見られます。 こうした状況 は今に始まったことではなく、以前から課題の一つとして取り組んできました。今年4月の始業式で「ことばを大切につかっていこう!」と全校に投げかけ、最重点 題として全教職員 がよ通 実践に取り組んでいるところです。こうした傾向は本校だけのものではなく年齢が上がるにつれて様々な外的要因や思春期特有の心の不安定さなどと密接に関係しあっているものと考えられますが、大切なことは「人を傷つけてしまう言葉」はどんな状況であっても許されるものではありません。言葉は大切なコミュニケーションの一つでもありますが、使い方を関連していた心は簡単には元にもどりません。言葉は大切なコミュニケーションの一つでもありますが、使い方を関連とば危険なツールともなってしまうことを、引き続き指導していきたいと思います。学校では、気になる言葉が聞こえてきたら「その言葉、いいのかな?」、「もう一度言い直してみようか」と返すようにしています。子ども自身が言葉を発する前に、ちょっと考えてみる習慣がつくことを期待しています。引き続き、各ご家庭でもご協力とおか調といたします。

**塥境整備作**#



9月20日(土)第2回環境整備作業をまちづくり協議会合同開催のもと実施いたしました。70名を超えるご参加をいただき、校地内除草作業に汗をながしていただきました。来る10月10日の体育大会を気持ちよく実施できることに感謝申し上げます。



ありがとうございました